

2024年度ジュニアライフセービング教室助成事業企画提案書

記載にあたっては、本助成事業の意図に沿って、具体的な企画提案をすること。
クラブや、クラブ員、地域にとっての課題とそれらを解決するにあたり作成したプログラムの意図や今後の中長期ビジョンについて、プログラムの内容と管理運営、当日の実際の指導案について記載すること。
課題1、2共に以下の枠に記載すること。収まらない場合、別紙を添付しても構わない。

申請団体名：

課題1 本助成事業によるジュニア教室の実施に向けた計画と、事業実施によりどのような成果を狙うのか。(評価項目：各評価項目最大10点、トータル最大30点)

- 1-1) 指導員の確保について(募集や事前研修などの計画、指導者が資格未取得の場合のリーダー講習会実施など)
- 1-2) 参加者や地域の課題を考慮し、対応する狙いやプログラムが掲げられているか
- 1-3) 総合評価

課題2 本助成事業を活用し今後どのようにジュニアライフセービング教室を展開するか
(中長期計画)。(評価項目：各評価項目最大10点、トータル最大30点)

- 2-1) 助成器材(ウェットスーツ)の活用方法及び、e-Lifesaving、バッジテスト、防災プログラムをどのように取り入れ、展開するか
- 2-2) 参加者や地域、クラブの現状の課題を考慮し、今後の具体的な提案がなされているか
- 2-3) 総合評価

課題3 指導案(評価項目：各評価項目最大10点、トータル最大40点)

- 3-1) e-Lifesaving への取り組み
- 3-2) バッジテストへの取り組み
- 3-3) 防災プログラムへの取り組み
- 3-4) 総合評価

別紙「ジュニアライフセービング教育指導案(当日に実施する内容)」に記入すること。
通年型で応募する場合は実施回数分作成し提出すること。

以上